



TITLE:

福留ユニット(京大物性物理研究グループの紹介,<特集>京都大学)

AUTHOR(S):

福留, 秀雄; 和田, 明; 香川, 晴男; 池村, 本多; 安田, 西川

CITATION:

福留, 秀雄 ...[et al]. 福留ユニット(京大物性物理研究グループの紹介,<特集>京都大学). 物性研究 1968, 9(4): 213-213

ISSUE DATE:

1968-01-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/86136>

RIGHT:

福 留 ユ ニ ッ ト

スタッフ	福 留 秀 雄
	和 田 明
	香 川 晴 男
D C	池 村 , 本 多
M C	安 田 , 西 川

当ユニットは寺本ユニットと共に、生物物理グループを作っており、予算・その他の運営は両ユニット一体で行っている。主な研究テーマは二つあり、その一は、蛋白質合成系、特にリボソームおよび転移RNAの機能と構造の関係についての分子生物学的実験であり、現在主として紫外線の照射によって生ずるリボソームおよび転移RNAの諸機能の変化から、これらの持つ遺伝暗号翻訳のための機能部位の状態、構造についての情報を得ることを試みている。その二は、生体高分子の電子状態に関する研究で、現在主として核酸について真空紫外部の吸収測定を中心とした分光学的な実験を行っている。

恒 藤 研 究 室

スタッフ	恒 藤 敏 彦
	恒 谷 俊 明

阪大基礎工から10月にこちらに移ったばかりですから、研究室の活動として紹介することはなにもありません。これからの計画というのも、また漠然と考えているだけです。

いままで主として超伝導、液体ヘリウムなど、量子流体のことを研究してきましたが、この方面に関しては、ヘリウム(He^4 - He^3 , 液体-固体)にしぼって勉強を続けたいと思っています。また、以前から興味をもっていた、高度に圧縮された物質の状態の問題を少しつつこんで勉強するつもりです。具体的には天体などで考えられるものですが、物性論の立場からみても面白いと思います。